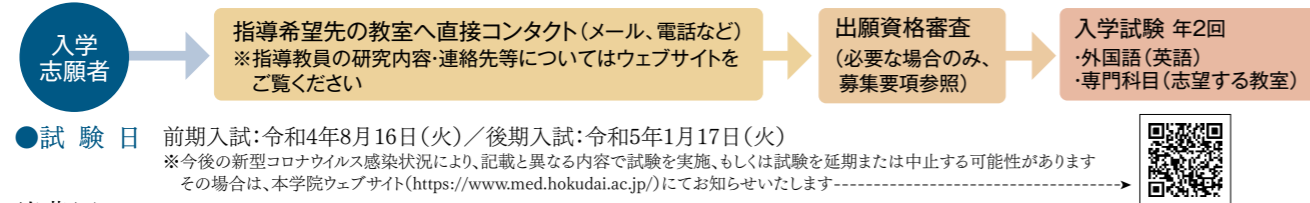


博士課程に入るには

■入試について

- **募集人員** 医学専攻90名(社会人若干名を含む)
- **出願資格** 大学における医学、歯学または修業年限6年の獣医学もしくは薬学を履修する課程を卒業した方、または修士課程を修了した方等
- **出願期間** 前期入試: 令和4年7月12日(火)から令和4年7月19日(火)まで
後期入試: 令和4年11月24日(木)から令和4年11月30日(水)まで
受付時間: 午前9時から午後5時まで。郵送(書留速達)とし、出願期間内必着のこと

●入試・選考の概要



■諸費用

- **入学検定料***: 30,000円
- **入学科***: 282,000円
- **授業料**: 535,800円(年額) (入学科、授業料は予定額です)

*本学大学院修士課程修了見込の方で、引き続き本学院博士課程へ入学する場合は、国費外国人留学生(文部科学省奨学金受給者)は不要です。願書提出の際、必ずその旨を申し出てください。

◎詳細は大学院学生募集要項で確認してください。

顕彰・奨学金制度等について

■顕彰制度

●医学院

- **優秀論文賞** 優れた論文を発表した学生に優秀論文賞および副賞(10万円相当)を授与します。
- **高桑榮松奨学金** 優れた業績をあげた若手研究者(大学院生を含む)に対する奨励賞(8~10万円(3~4名))を授与します。
- **HIROKOの国際学術交流基金** 海外の大学または研究機関において、がん研究を行い帰国する研究者(申請時の年齢が満35歳以下)へ研究奨励費(原則1人あたり100万円、1年度に2名の範囲)を支給します。

●北海道大学

- **北海道大学大塚賞** 本学における男女参画事業の一環として、研究者を目指す優秀な女子学生育成のために設立。大学院博士課程(博士後期課程および博士一貫)最終年次学生(原則として留年者を除く)で、研究者を目指し、当該年度内に修了予定の優秀な女子学生に対して、奨励金(30万円)を給付します。

■奨学金制度

●医学院

- **音羽博次奨学金** 学業・人物ともに優秀な学生および外国人留学生に奨学金(15万円(各10名以内))を授与します。

●北海道大学

- **北海道大学アンビシャス博士人材フェローシップ(SDGs)** 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals「SDGs」)の達成に対して、研究領域を問わず取り組むために、優秀な学生を支援経費等(研究専念支援金月額15万円、研究費年額40万円: 令和4年度支給額)により支援します。
URL: https://gers.high.hokudai.ac.jp/news/2022_hu_ambitious_doctoral_fellowship/
- **北海道大学DX博士人材フェローシップ** 我が国の科学技術・イノベーションを進展させ、重要課題を創造的に解決して未来を拓く力量を持つ卓越した博士人材を育成することを目的とし、採択者には研究奨励費月額15万円、研究費40万円(令和4年度支給額)が支給されます。
URL: <https://sites.google.com/eis.hokudai.ac.jp/dxphd-fellow/home#h.8gvmu8x9j0xs>

●その他

- **日本学生支援機構の制度** 最も一般的な奨学金を貸与する制度。第一種奨学金(無利息)と第二種奨学金(利息付)があります。
※詳細は同機構のウェブサイトをご覧ください。
- **武田科学振興財団医学部博士課程奨学金** わが国の生命科学分野、特に疾病の予防・診断・治療の進歩・発展に貢献するため、医学部医学科出身の基礎医学研究を希望する博士課程の大学院生に奨学金を支給する制度です。医学部医学科出身で、博士課程に進学して基礎系教室に所属する予定の方に対して、年額360万円の奨学金が給付されます。※採用には年齢および収入などの条件があります。

■日本学術振興会

- **特別研究員** わが国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士課程在学者(DC1、DC2)および大学院博士課程修了者(PD、RPD)等で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する方を、日本学術振興会が「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する制度です。本医学院ではDC1に1名、DC2に3名が特別研究員として在籍しています(令和4年4月1日現在)。

区分	採用期間	研究奨励金(支給予定額)	研究費(科学研究費助成事業)
DC1	3年間	月額20万円	毎年度150万円以内
DC2	2年間	〃	〃
PD/RPD	3年間	月額36万2千円	〃

※詳細は日本学術振興会ウェブサイトをご覧ください。(TOP>事業のご案内>人材育成事業>特別研究員)

■リサーチ・アシスタント(RA) / ティーチング・フェロー(TF) / ティーチング・アシスタント(TA)

●リサーチ・アシスタント(RA)

医学研究院で行われている研究プロジェクト等で、博士課程に在籍する学生に研究補助者として参加してもらい、研究体制を充実させるとともに、若手研究者の研究遂行能力の育成を図る制度です。入学後に優れた研究業績をあげた学生に対し、その業績に応じて採用します。採用者には勤務実績に応じ年間約50万円が給与として支給されています。

●ティーチング・フェロー(TF)

大学院教育の一環として位置づけられている制度で、TF(TA業務に従事した経験の有する)として採用された博士課程学生に教員と分担しながら主に医学部医学科で展開されている授業科目を担う機会を提供するものです。担当する授業科目により異なりますが、採用者には勤務実績に応じ年間約8~12万円が給与として支給されています。

●ティーチング・アシスタント(TA)

主に医学部医学科で展開されている授業科目の教育補助業務を行うことにより、大学院生の経済的支援および将来、教員・研究者になるためのトレーニングの機会提供、大学教育の充実を目的とした制度です。担当する授業科目により異なりますが、採用者には勤務実績に応じ年間約7~10万円が給与として支給されています。

国際交流

北海道大学大学院医学院は、研究者の交流や共同研究を通じて国際化を図っています。国際交流事業の一つとして、国際交流基金を設けて外国人研究者の招へい・受け入れに関わる援助や補助、若手研究者の派遣・育成、留学生の奨学援助・補助を行っています。

医学教育・国際交流推進センター 国際連携部門

留学生のサポート

医学院には博士課程と修士課程とを合わせて、8カ国46名(令和4年4月現在)の留学生が在籍しています。留学生が安心して学べる環境を整えるために、国際連携部門には常勤スタッフと留学生サポートスタッフがいて、留学生を学術・生活の両面からサポートしています。



国際連携部門

詳細は国際連携部門のウェブサイトをご覧ください

URL: <https://edu.med.hokudai.ac.jp/international-relations/>

■医学院における外国人留学生数

(令和4年4月1日現在)

●国・地域別

地域	国名	人数
アジア43人	台湾	1
	中華人民共和国	39
	バングラデシュ人民共和国	1
	ベトナム社会主義共和国	1
	マレーシア	1
中南米1人	アルゼンチン共和国	1
中東1人	アフガニスタン・イスラム共和国	1
アフリカ1人	エジプト・アラブ共和国	1
	合計	46
外国人学生数(「留学」以外)		2

●所属別

()内は女子で内数

修士課程	博士課程
6 (5)	40 (19)

●経費別

()内は女子で内数

国費留学生	6 (3)
私費留学生	38 (19)
外国政府派遣留学生	2 (2)
合計	46 (24)
外国人学生数(「留学」以外)	2 (1)
留学生および外国人学生総数	48 (25)

MESSAGE 博士課程在籍 留学生からのメッセージ

統計知識で医学研究の道を切り拓く

社会医学コース / 医学統計学教室(令和2年度入学) [中華人民共和国]

楊 一馳

予防医学専攻出身の私は大学生の頃から医学また公衆衛生領域における統計方法に興味津々です。修士コースで感染症モデリングについて研究した末、方法論の数理統計的背景に益々関心が強まってきました。博士課程に進学する時、医学統計方法論を究める道を選び、医学統計学教室に入学させて頂きました。

横田先生のご指導のもとで、北海道大学病院呼吸器内科の臨床家先生方々が収集された喘息コホート研究データの分析をさせて頂きました。これをきっかけにして、現在の研究テーマ「繰り返しイベントの生存時間解析におけるジョイントモデル」にたどり着きました。巨人の肩の上に立つつもりで、今まで開発が進んだモデルを喘息患者の気道機能データに向けて更に改善し、喘息の予防また喘息増悪の予測方法を提案したいと思います。微力ですが、引き続き統計知識をもって医療データを正確かつ効率的に解釈し、医学研究の道を切り開きたいと存じます。

